

# 令和元年度の演習の組み立てと獲得目標

1. 演習事例を通して、日々の支援内容（職員対利用者との関係性〔距離感や関わり方〕）について再確認する【ワーク1】
2. 演習事例を通して、「初期対応で必要なこと」を再確認する【ワーク2】
3. 演習事例を通して、事業所での虐待防止に向けた課題分析と対応策について再確認する【ワーク3】

## 【登場人物】

利用者Aさん 19歳女性 療育手帳A1(養護学校卒業時からこの生活介護事業所利用)

生活支援員B子さん 50代女性 入職15年(入所支援施設での経験を経て4月から生活介護事業所へ)

生活支援員C美さん 20代女性 入職1年(この生活介護事業所が福祉関係初業務)

## 【事例概要】

5月23日、朝から少し表情が硬かったAさん。C美さんが「お風呂ですよ」と声を掛けるが「うるさい！お風呂なんか入らない！」と怒鳴り動かずにいた。C美さんはAさんの気持ちが落ち着くのをしばらく待つことにした。するとB子さんがAさんの両脇を抱え後ろ向きに引きずって脱衣場へ連れて行った。Aさんは嫌がり大きな声を出していた。

B子さんはAさんを脱衣場まで連れ込むと、「もう！面倒掛けないで！」と大声で言い、浴室から出ていった。

Aさんはずっと泣いており、一連の状況を見ていたC美さんはサービス管理責任者に報告した。

サービス管理責任者は「また？Aさん？B子さん？…」と困った表情をするのみであった。

5月24日、Aさん父より欠席の連絡あったが特に父は理由を言わなかった。

その日からAさんは事業所には来なくなった。父は一度も欠席の理由を言わなかった。

欠席が1週間ほど続き、サービス管理責任者は管理者に報告をした。